

◇現代社会と青年◇

若者が親に良い影響を

与えている



むろだて
いさお
室館 勲
株式会社キャリアコンサルティング
代表取締役社長

ある女子大生の話です。お母さんが勤めている会社で、社員研修の変更を検討していたそうです。お母さんは、娘がキャリアコンサルティングに通ってリーダーシップを学んでいることを思い出しました。娘に案を聞いてみると、キャリアコンサルティングの勧めで読んでいる月刊誌『致知』を取り出します。「これは人間学を学べる月刊誌で、経営者の間でも有名な雑誌だよ」と勧めました。

お母さんが読んでみたところ素晴らしい本だと感じ、社長に提案をしました。すると社長の琴線にも触れたようで、お母さんの会社では、その本を使って研修を進めることになりそうだ。という話です。

私に報告してくれた女子大生は、本当に嬉しそうな顔をしていました。お母さんを通して、会社に影響を与えられて本当に嬉しかったようです。

次に紹介する話は、男子学生の話。息子が、弊社のリーダーシップ教育を受けていることを知っていたお父さんが、何の気無しに部屋に入ってきました。机の上に置いてあった、拙著『夢を見て 夢を叶えて 夢になる』（致知出版社）に興味を持って「ちょっと借りるよ」と言っ出ていきました。読んでみると面白かったらしく、「この人の本は他に無いのか」と言うので、学生は『まずは上司を勝たせなさい』（講談社）を貸しました。お父さんは、数日経って息子に感想を言います。「本当に良かった。面白かった。俺もこのままではいかんと思っていたところだ」そして衝撃の一言。「俺は起業をするぞ！」

お父さんは今、起業の準備を進めているそうです。学生は驚きながら私にこう言いました。

「この本は若者向けだと思っていたのに、五十代の大人の心にも火をつけるなんて本当に驚きました」

彼らにとって、自分の影響で物事が動いていくのは嬉しいことです。ましてや、自分の親に対しても影響を与えられたということは、より特別なことでしょう。

現代社会を生きる若者は皆、この様な素晴らしい可能性と社会貢献力を持っています。今後の若者達の活躍がますます楽しみになっています。